

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果

4月18日(火)、小学校6年生と中学校3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。

1 学力調査結果(数値は正答率)

小学校	国語	算数	
大崎町平均	62(66)	60(60)	
鹿児島県平均	67(67)	61(63)	
全国平均	67.2(64.7)	62.5(63.2)	
中学校	国語	数学	英語
大崎町平均	69(67)	46(40)	36(50)
鹿児島県平均	70(69)	48(47)	42(53)
全国平均	69.8(69.0)	51.0(51.4)	45.6(56.0)

※()内の数は、国語、算数・数学…令和4年度。英語…平成31年度の結果です。

2 学力調査結果の概要(○…成果、△…課題)

(1) 小学校6年生

国語	○	書くこと(記述式)の問題で、全国平均を5.4ポイント上回った。
	△	情報の扱い方に関する事項で、全国平均を10.2ポイント下回った。
算数	○	記述式(説明)の問題で、県平均・全国平均を上回った。
	△	数と計算の問題で、全国平均を3.4ポイント下回った。

(2) 中学校3年生

国語	○	我が国の言語文化(歴史的仮名遣い)で、全国平均を7.3ポイント上回った。
	△	叙述の仕方確かめて文章を整える問題で、全国平均を4.4ポイント下回った。
数学	○	記述式(説明)の問題で、全国平均を2.9ポイント上回った。
	△	図形の問題で、全国平均を7.6ポイント下回った。
英語	○	記述問題の無答の割合は、全国平均よりも少ない。
	△	聞くこと(リスニング)の問題で、全国平均を10.5ポイント下回った。

3 学力調査結果の考察

今年度全ての教科において、県平均・全国平均を下回ってしまいました。小学校においては、記述式の問題に改善傾向が見られ、学校の取り組みの成果が見られます。一方、複数の情報(表やグラフ)から必要な内容を読み取る力に課題が見られました。中学校においては、県平均にあと少しの結果でしたが、記述(説明)の問題に課題が見られました。英語においては全国的に点数が下がっていますが、ある程度速く話される英語を、1回で聞き取る練習が必要のようです。